



研究所ニュース No. 428

平成 29 年度 研究助成（上期募集分）の決定

冲中記念成人病研究所の事業として、7 月から募集しておりました研究助成に多数の応募があり、審査会ならびに研究委員会で審査した結果、次の 24 件に対し助成することを決定いたしました。

1. HCV 薬剤耐性から見た直接作用型抗ウイルス薬治療効果
(芥田 憲夫 肝臓内科)
2. Helicobacter cinaedi（ヘリコバクター・シネディ）の感染経路と薬剤感受性に関する研究
(荒岡 秀樹 臨床感染症科)
3. 表在食道癌内視鏡切除後狭窄予防策の開発 術後検体での組織学的検討
(飯塚 敏郎 消化器内科)
4. アルツハイマー型認知症の超早期診断のための臨床的バイオマーカーの検索
(井桁 之総 高齢者総合診療部)
5. 腫瘍特異的蛍光プローブの検索と病理診断への応用に関する研究
(井下 尚子 病理部・病理診断科)
6. 造血幹細胞移植前治療としてのメルファラの血中濃度変動と毒性に関する研究
(内田 直之 血液内科)
7. リンチ症候群を背景とする泌尿器癌（前立腺癌・膀胱癌）の有病率の推定およびその臨床病理学的特徴の検討
(浦上 慎司 泌尿器科)
8. 小型肺腺癌における Tumor Island の病理・臨床的検討
(宇留賀 公紀 呼吸器センター内科)
9. 糖原病Ⅲ型の遺伝子変異と機能に関する検討－3
(大久保 実 内分泌代謝科)
10. 食道癌術後における消化態経腸栄養剤（ハイネイゲル®）と半消化態栄養剤（メイソン®）の有効性に関する前向きランダム化比較試験
(大倉 遊 消化器外科)
11. 胃癌リスクバイオマーカーである trefoil factor3 の組織内発現に関する検討
(貝瀬 満 消化器内科)
12. 間質性肺炎合併肺癌における治療標的因子の検討
(岸 一馬 呼吸器センター内科)

28.10.30 公益財団法人 冲中記念成人病研究所

13. B 型肝炎例に対するエンテカビル治療における viral breakthrough 症例のウイルス学的検討
(鈴木 文孝 肝臓内科)
 14. HBs 抗原の陰性化を目指した各治療法別因子の解析
(鈴木 義之 肝臓内科)
 15. 同種造血細胞移植後の類洞閉塞症候群／肝中心静脈閉塞症（SOS／VOD）に対するトロンボモデュリン アルファ（遺伝子組換え）の安全性と有効性についての後方視的検討
(高木 伸介 血液内科)
 16. クッシング病における USP8 依存性シグナル伝達ネットワーク機構異常の解明
(竹下 章 内分泌代謝科)
 17. ホルモン受容体陽性 HER2 受容体陰性乳癌の晩期再発予測因子と長期予後の検討
(田村 宜子 乳腺・内分泌外科)
 18. 非機能性下垂体腺腫におけるドパミン D2 受容体発現の検討
(西岡 宏 間脳下垂体外科)
 19. FLT3/ITD 遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植の検討
(西田 彩 血液内科)
 20. MRI による肝臓脂肪および鉄沈着評価のためのファントムによる定量性の検討
(福澤 圭 放射線部・放射線診断科)
 21. 多発性嚢胞腎に対するトルバプタンの安全性・有用性の検討
(星野 純一 腎センター内科)
 22. 筋炎症例における筋・筋膜の病理変化に関する検討（その 2）
(前田 明子 神経内科)
 23. 造血幹細胞移植を受けた患者の QOL に関する縦断的調査研究
(森 有紀 血液内科)
 24. 造血幹細胞移植後の BKV 感染症に関する研究
(湯浅 光博 血液内科)
- 公益財団法人 黒住医学研究振興財団「第 24 回 研究助成」決定
- 井下 尚子研究員の研究課題名「尿路上皮癌における Lynch 症候群の頻度とその臨床病理学的特徴の検討～150 例の上部尿路上皮癌組織標本の microsatellite instability (MSI) 検査を含めた後向き検討と、尿検体を用いた MSI 検査への前向き検討と臨床応用」が採択されました。
- 10 月 28 日(金)に贈呈式が執り行われました。

寄付ご芳名

研究所ニュース 427 号以後、下記の方より
ご寄付がありました。

原プレスセンタークリニック 原 茂子 様

貴重なご寄付につきましては、ご芳志に添う
よう医学研究のため役立たさせていただきます。
誠にありがとうございました。

みなさまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申
し上げます。

当研究所は、第 2 代虎の門病院長、故) 冲
中重雄の文化勲章受章(昭和 45 年 11 月)を
記念し、政・財界の支援を得て昭和 48 年 5 月
設立いたしました。虎の門病院と密接な関係の
もと、成人病(生活習慣病)の臨床的及び基
礎的研究を行っております。

研究実績を臨床の場に還元できますよう一
層努力してまいる所存でございます。

今後とも皆様のご支援ご指導をよろしくお願い
申し上げます。